

こんにちは議会です



ぱいぬしま

たけとみちょう

No. 44
2023

改選

一年

から

P.4~

✓ わたしたちの町の議員は
どんな質問をしているの？

CHECK!!



議会だより

- 第5回議会(8月臨時会) 2
- 第6回議会(9月定例会) 2
- 令和4年度 各会計決算審査 3
- 9月定例会一般質問 4
- 町のココを見てきましたQ(所管事務調査) 10
- まちづくりの勉強に目(行政視察・愛知県豊橋市ほか) 11
- 議場見学! 写真館 12

CHECK!!



竹富町マスコット
キャラクター
ピカリヤ〜

竹富町議会ホームページ
<http://www.town.taketomi.okinawa.jp/gikai/index/>



TAKETOMI TOWN

日本最南端のまち竹富町

8月臨時会

～8月 臨時会～

令和5年第5回(8月)臨時会は、8月15日に1日間の会期で開かれました。
臨時会では前泊町長から、1件の議案【工事請負契約について《細崎団地建設工事(建築・外構)》】が提出され審議されました。
慎重審議の結果、可決されました。

9月定例会

～9月 定例会～

令和5年第6回(9月)定例会は、9月8日から22日までの15日間の会期で開かれました。
定例会では、前泊町長から報告3件、認定7件、補正予算案5件、条例案3件、同意案14件、その他2件議案が提出され審議されました。
慎重審議の結果、全議案について可決されました。

補正予算を可決

【令和5年度】

・一般会計(第3号)	3億4,835万円	増額
・介護保険事業	1,866万8千円	増額
・水道事業	1,745万5千円	増額
・下水道事業	644万円	増額
・農業集落排水事業	317万5千円	増額

上勢頭巧議員 一般会計補正予算(第3号)への賛成討論

- ・防災無線の修繕とヘリポートへの可搬型照明の購入は、命を守る重要な設備。また、老朽化で全面改修が必要ならば早期に計画し予算措置の対応を望む。
- ・船賃負担軽減事業負担金の予算措置で下半期も船賃が上がることなく町民の船賃負担軽減され感謝。今後も燃油サーチャージにより段階が上がらないように、さらにもう一段階、二段階と船賃が下がり負担が軽減される予算を望む。
- ・竹富地区墓地造成工事住民や土地の寄付者は墓地の整備を望んでから10年以上経過、この度全面的造成工事に感謝。今年度中にしっかり工事が終わるよう望む。

可決!

◎教育委員会委員を同意可決 嘉良 寧氏 ◎農業委員会委員を同意可決(13名)

条例 **可決!**

エコツーリズム推進法の施行等に関する条例の討論一部抜粋…2件

山下 義雄 議員 ----- 賛成

豊かな自然と魅力あふれる島々の伝統文化が受け継がれている竹富町。西表島の世界自然遺産や、特定自然観光資源のエリアのみならず、竹富町全体がエコツーリズムの町として、最先端を目指していただくことを要望したい。

崎枝 裕次 議員 ----- 賛成

条例の施行日までが大事になってくる。パブコメの対応や募集しているシステムの運用内容、不安視する声を上げている方々もいる。前泊町政の掲げるスピード感が見られるが、声を拾い上げるという部分がとても重要だと思う。本条例だけでなく、施行規則、また全体構想においても、これから業者と話し合う上で変更が必要というのであれば、迅速な対応をして、変えられないではなく、必要なですぐ変えるという姿勢を見せていただけたらと思う。
議会においても必要があれば委員会の開催や、また視察も考えているので、勉強を続けていければ。また、限られた時間の中でしっかりと話を聞いて、未来の竹富町の子供たちのために西表の自然を守っていただけたらと思う。

条例 **可決!**

竹富町観光案内人条例の全部を改正する条例の討論一部抜粋…1件

宮良 道子 議員 ----- 賛成

本条例を改正するに当たり、長い年月を費やし、取り組んだ竹富町エコツーリズム推進全体構想を基に、パブリックコメントを行い、違反業者の取締りを強く要望する意見が多くあった。本条例改正について、違反者を取り締まるにも観光業の皆さんはほぼ賛成の感じを受けたが、竹富町観光案内人施行規則についての内容にパブリックコメントの意見が反映されているのかなど上程に対し早急過ぎるなどの不信感を抱いていると感じた。
罰則規則のある本条例を早期に定めるとともに、観光業者の皆さんが問題にしている竹富町観光案内人条例施行規則の内容をしっかりと協議し、皆さんがある程度納得するものにしていただくことを強く要望する。

※ 議決結果は竹富町ホームページをご参照ください。

令和4年度 各会計歳入歳出決算!!

■ 令和4年度会計別決算状況

(単位:千円、%)

会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	翌年度への繰越すべき財源
一般会計	10,270,235	9,468,254	801,981	445,959
特別会計	1,942,038	1,672,647	269,391	102,887
国民健康保険事業特別会計	780,446	668,684	111,762	0
介護保険事業特別会計	504,180	463,977	40,203	0
後期高齢者医療特別会計	36,445	34,723	1,722	0
水道事業特別会計	516,085	409,997	106,088	102,887
下水道事業特別会計	52,897	46,457	6,440	0
農業集落排水事業特別会計	51,985	48,809	3,176	0
合計	12,212,273	11,140,901	1,071,372	548,846

■ 町民一人当たりに使われるお金

2,258,648 円

令和5年3月31日現在人口(4,192人)基準

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
23,121 円	622,288 円	226,432 円	334,839 円	290,263 円	30,914 円
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	その他
106,357 円	35,482 円	202,277 円	2,546 円	210,871 円	173,259 円

◆ 総務財政委員長報告一部抜粋

歳入では滞納整理の状況について、歳出では、特に総務費、衛生費、農林水産業費、土木費、消防費、教育費等の各種事業の執行状況や不用額について活発な質疑が行われた。

討論では前年度との比較を見る中で、引き続き委託料の減らせる事業の検討を続けて頂き、町民サービスの強化につなげてほしい。今後、コロナの補助金が無くなることが予想される、そういった対策を進めて頂きたい。また、収入未済の増加がみられたので注意いただきたい。との賛成討論がありました。

採決の結果、令和4年度竹富町一般会計と、国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定については、全委員一致で認定すべきものと決定した。

◆ 経済委員長報告一部抜粋

歳入では、収入未済額、歳出は、主に、繰越事業と不用額の内容などについて質疑があった。

中でも、水道料滞納額は昨年度より増となっており、督促、電話連絡、臨戸訪問を実施しているが、厳しい状況であり、他の課とも連携し取り組んでもらいたい旨が委員からありました。

公正公平な水道行政のためにも、水道料の効率的な徴収に向けて、徴収業務の工夫を図るべきとの意見もありました。

討論では、「水道は住民の暮らしに直結しており、安心安全な生活を営むためにも、水道の安定供給に万全を期して取り組んでほしい。また滞納整理に全力で取り組んでほしい旨を強く要望する。との賛成討論がありました。

採決の結果、水道、下水道、農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定については、全委員一致で認定すべきものと決定した。



大久研一 議員

●竹富町基本計画・人口ビジョン(2015～2060)

問 人口は現在4333人で推計より10年早く4300人を達成している。分析は？

政策推進課長 船賃負担軽減事業や子育て支援、高齢者福祉政策の効果があるのである。地域の実態に沿った施策を望む。

大久議員 人口の増減に島間で格差がある。地域の実態に沿った施策を望む。

●観光の経済波及効果

問 就業人口の約80%が観光業を主体とする第3次産業に従事しているなど産業別就業人口に偏りがある。また、観光消費経済の地域にもたらす波及効果が実感できないが見解を伺う。

自然観光課長 観光産業の地域への波及効果が十分ではないとの検証結果が出ている。産業連関表を基に町の産業構造、波及効果を勉強しながら各担当課の施策・事業を進めたい。

●物価高騰による町民支援

問 ガソリン代の高騰が続く住民生活、経済活動に影響がある。本町独自の町内燃料費購入補助は考えられないか？

政策推進課長 国、県の助成制度を精査して本町にみあった政策を研究して取り組む。

●畜産農家支援

問 配合飼料や資材の高騰、子牛販売価格の低迷で今後の畜産農家経営に不安を感じている。国、県の支援事業があるが十分ではない。町独自の畜産農家支援は？

農林水産課長 現状を理解し、関係課と調整している。何とか支援したい。

●船賃サーチャージ加算分支援

問 燃料高騰によるサーチャージ加算分の支援拡充ができないか？

政策推進課長 県と事務方レベルで調整している。

大久議員 町民にとって定期船は、本島の生活路線バス、モノレール、内地の鉄道と何ら変わらない交通手段。国、県へ強く訴えていただきたい。

●委託料契約の在り方

問 委託契約も5,000万円以上の高額な契約は透明性や公平性を担保する上からも議会の議決が必要だと思いませんか？

総務課長 地方自治法で必要ないとなっているので制定する予定はない。

問 コンサルタントへの委託件数と金額は。

財政課長 計画策定調査業務の主なもので12件、金額は1億7,000万円。

大久議員 専門的立場からコンサルに委託することは大切だと思いが、9つの島々からなる竹富町の実情を理解されていないコンサルタントも見受けられる。費用対効果の観点からも全て丸投げせずに委託内容、委託金額の見直し検討も必要。

【一般質問の様子は、QRコードより YouTube でご覧いただけます。】



上勢頭 巧 議員

●古見小・上原小のプラスチック削減に関する提言に対する施策

問 ウォーターサーバーを港に設置する提言について可能かどうか伺う。

まちづくり課長 今議会会でウォーターサーバー設置のための補正予算に計上しており、10月から仲間港と上原港の2か所から設置を進めていきたい。

問 竹富島もペットボトルやヤイクアウトのゴミが大量に港のゴミ箱に捨てられており、分別するのに苦労している。マイボトルやリユースカップを導入できないか。

町民課長 マイボトルやリユースカップの配布・回収・周知など他の自治体の導入事例を研究していきたい。

問 我々大人は提言を聞いただけで済みますのではなく、できることから実現しプラスチック削減に取り組んでいきたいと考えている。前泊町長、これらの提言について今後の姿勢について伺う。

町長 子供たちの将来を考えたとき、今、責任世代としてどう取り組んでいくのかが一番重要だと考えている。この子供たちの提言に関してはしっかりと町としても前に進めるように一緒に取り組んでいきたい。

●原油価格・物価高騰に対する竹富町政の対策

問 竹富町に即した制度、支援の仕方とはどのようなものか伺う。

政策推進課長 竹富町に即した支援とは、燃油サーチャージ分の補助の継続と、子供たちの派遣費を含めた教育費の補助、一人一人への給付ができないかなど財源を見ながら検討している。

問 カーシェアの導入によって石垣島の車の維持費もかからないようになる。カーシェア導入に向け今後の取り組みを伺う。

総務課長 車のメーカーと管理方法と費用など算定中。できれば次年度中には始めたい。

上勢頭議員 1回の給付金で終わりではなく、持続可能な施策を行ってほしい。また、住民の暮らしに反映するよう、見える形で実感してもらえようという取り組みをしてほしい。

その他にもこのような質問をしました。

- 町民の所得向上のための施策
● マネーリテラシーの向上のための施策



ひがしかなみね はじめ
東金嶺 肇 議員



問 第一航空へ8月18日に電話確認をし、9月16日付新聞にも「間もなく就航が決まる」とあったが詳細は。

●航空路再開

政策推進課長 8月24日から乗員2名の訓練を始め、その後航空局の審査、機体の空輸、波照間・石垣間の慣熟訓練の後就航となるが未定。

問 駐車場外周のネット設置でヤギの侵入は減少したが、雨の出入り改修は。

まちづくり課長 出入口とフェンス、車庫の整備は具空港課とヒヤリングで要望中。

問 職員が退職し会計年度だけで維持するののか。

総務課長 職員1名配置したい。

問 空港 集落間の交通体制は。

政策推進課長 自家用車の有償運送も考えているが、ニーズ調査結果で判断したい。

●展望台と底名ため池までの道路整備

問 農免道路を通り多くの観光客が目指す最南端の碑の途中にある坂の上は、本町の島々がよく見え、熱中症対策に

もなる事から、東屋兼展望台の整備と底名ため池までの道路整備について。

自然観光課長 現在取り組んでいる観光拠点施設意向調査で研究する。

●集落未舗装道路と農地排水路改修

問 調査と整備順位、排水路の緊急性は。

まちづくり課長 調査済。町内道路39件の要望中、危険度、生活支障等7項目で判断し順位は中間。

農林水産課長 10か所以上倒壊を確認。早急に改修が必要。

●住宅リフォーム支援事業

問 今年度の申請、交付決定と予算60万円の増額の考えは。

まちづくり課長 相談23件、申請・交付とも4件。次年度地域住宅政策推進事業で5件100万円を想定。

問 屋根葺替え工事と自らの施工も認める要綱の見直しを。

まちづくり課長 瓦張替えを柱・梁の改修に含め決定した。改正を検討したい。

●空き家実態調査

問 調査体制は。

まちづくり課長 公民館館長からも聞き取りを行い、10・11月頃の2回所有者に空き家活用賛否可否の調査予定。事業は空き家台帳、地図帳、所有者リストを基に進める。

その他にもこのよつな質問をしました。

- 滑走路延長
- 観光拠点意向調査における星空観測タワーの内容
- 荷さばき施設整備
- 地域商社

【一般質問の様子は、QRコードより YouTube でご覧いただけます。】



やまもり つむ
山盛 力 議員



●西表庁舎・世界遺産センターについて

問 西表庁舎の現時点での進捗状況を伺う。

政策推進課長 昨年度に実施した住民説明会での意見も踏まえ、大原複合防災拠点施設として施設内に庁舎機能を設ける。国民保護に関する議論の中で、緊急一時避難施設、いわゆるシエルター機能の追加を検討している。

●県に対する要請について

問 県知事が初めて竹富町に入り、西表島も視察して頂いたのが、どのような進捗があったのか伺う。

まちづくり課長 仲間港の緑地帯の撤去および駐車場の整備について実際に知事に現場を見ていただき、路上駐車がみられることから適正利用を促すとともに、港湾管理者の県より増設の必要性について地元と十分に調整していきたくないと回答をいただいた。

●高齢者福祉サービスについて

問 高齢者の船賃の無償化について、財源確保という難問がある中で先般の議会では、行政として支援を検討したいとの答弁だったがその後の進捗状況を伺う。

●福祉支援課長

現在、高齢者の通院に伴う付き添い者の渡航費の補助について準備を進めている。通院以外の渡航費助成については仕組みづくりと財源の見直し、また段階的な支援ができないか引き続き前向きに検討する。

●山盛議員

近年物価は上がり、年金は下がるという現実がある。高齢者の皆さんからは、子育て支援同様高齢者支援も考えてほしいという声もある。高齢者の渡航費の均等化を是非とも検討していただきたい。

●古見小学校の統廃合について

問 当局としての取り組み、進捗状況を伺う。

教育委員会総務課長 第1回の検討委員会において、統合もしくは存続のそれぞれの立場から様々な意見があった。同時に地域校区内の住民へのアンケート、未就学児の保護者へのアンケート調査を行った。今後はアンケート調査の結果をもとにして未就学児保護者への意見交換や地域懇談会を踏まえて第2回検討委員会を開催したい。



かやもと しんいち
加屋本 真一 議員

● 第一次産業について

問 今後の農作業の負担軽減のため、集中脱葉施設整備、ハーベスターなど機械化に向けた町の取り組みを伺う。

● 農林水産課長

現在3工場において令和10年までの機械導入計画を提出してもらっている。竹富町としても関係機関と調整し導入に向けて支援していくところ。

● 加屋本議員

これからは高齢化も進み、援農隊の確保もさらに厳しくなっていくと思う。機械化することなどで大幅な収穫作業の負担軽減になると思うので、しっかりと取り組んでいただきたい。

● 野ヤギ対策について

問 波照間で野生のヤギが増えすぎて畑を荒らしている被害が多くなっている。町として対策があるのか伺う。

● 農林水産課長

農作物等への被害対策については鳥獣被害防止計画に基づいて行っているが、野ヤギ

は対象鳥獣に該当していないため、今後被害状況の確認を行いながら計画の見直しを含め対策を考えていきたい。

● 波照間漁港について

問 6月議会で質問したトビウオ漁調査にかかる漁具の修繕費、燃料費等の支援の要請の進捗は？

● 農林水産課長

漁業の再生に関する実践的な取り組みを支援する沖縄県農業集落再生支援事業を視野に入れて、県と協議している。漁業者及び地域の方との協議の場を設け事業実施に向けて進めていきたい。

● ニシ浜シャワールームについて

問 ニシ浜のシャワールームをコイン式にすることはできないか？

● 自然観光課長

現在は自閉式の水栓、バルブを握っている時だけ水が出るような形で水の量を調整している。コイン式を導入するとなると機械の改修や正常に稼働しているかチェック業務などが増え、現在の管理体制ではきびしい。現状の自閉式のバルブの利用が最適だと考えている。

● 加屋本議員

波照間島では水を作るのに相当の電気代もかかっている。ぜひコイン式の導入を検討していただきたい。

その他にもこのような質問をしました。

・下田原城跡公園整備の進捗について

【一般質問の様子は、QRコードより YouTube でご覧いただけます。】



みやら みちこ
宮良 道子 議員

● 学力推進と離島の不利性をなくす学習環境の整備について

問 家庭学習アプリの児童生徒の家庭での状況は。

● 教育委員会教育課長

学習支援アプリ利用状況は解いた問題数で把握。7月データ6時以降6,800問超えて一人当たり15問。学校のある時間帯朝8時から午後5時までは3万3,200問で一人当たり75問解いている。

● 問

もっと学びたい子供達や受験対策での教員の労働軽減と学力向上に塾がない竹富町においてネット塾の活用を提案してきた。今年西表島の飯田慎太郎さんが東大に合格。彼もネット塾を受講し是非とも竹富町で学べるネット塾の環境を要望していた。また夏休みに勉強したいと、石垣のツマベニに宿泊し塾に通っている中学3年生もいる。支援や学べる格差を無くす環境整備はできないか。

● 教育委員会教育課長

ネット塾の導入は費用対効果・ランニングコスト等そして持続可能な事業かを精査し導入に向けて取り組んでいきたい。

● 住宅リホーム事業について

問 今年度1件あたり上限20万円の3件で60万円の予算で4件が決定したが。

● まちづくり課長

かかる工事費に2/10を掛けた金額の上限20万円で全てが工事に賄えるということではないので4件で60万円。

● 問

令和6年度社会資本整備総合交付金地域住宅施策推進事業を活用し国45%・県16.5%の補助事業5件で100万円を想定とあるが、これも1件上限20万円で国・県の補助が入るだけか。

● まちづくり課長

次年度要望として社会資本整備総合交付金地域住宅施策推進事業を予定し5件の100万円を要望している。

● 問

補助の中で国9万円・県3万3,000円・町7万7,000円での上限20万円で国県の助成で町負担が少なくなるが、せっかく国・県の助成がある中で同じ上限20万円では屋根修理等望む事業ができない100万円位の工事幅を広げ自己負担20万、30万円位のリフォーム事業の見直しは出来ないか。

● まちづくり課長

要綱の見直しについては可能だと考えている。予算確保については本庁の財源もしっかりと調整しながら考えて行きたい。



さき えだ ゆう じ
崎 枝 裕 次 議員

●衛生通信サービスについて

問 これまで様々な案を出してきただが、不感地帯解消においては現状スタートリンクが唯一の技術となると思う。業者と7月に庁舎屋上でテストを行ったと聞いている、町の考えは？

まちづくり課長

沖繩では8月にサービスが開始したばかりで具体的な提案はできないが、町に適した導入案を検討していきたい。

問 緊急通報の対応や緊急車両への整備も考えられないか？

防災危機管理課長

災害時の通信確保において大変有効と考えている、調査を進めていく。

政策推進課長

緊急通報対応においてキャリアで検討している事がある、年度内に提案がもらえればと期待。

崎枝議員

2024年からさらに通信業界の情勢が気になるところがある、防災面の利用も含めて最新の情報収集に努めていただきたい。

●船浦港及び周辺整備について

問 以前取り上げたが、その後県との間で進捗はあるか？また船浦港周辺には北西道路開通記念碑がある町民の目の留まりやすい場所へ移設できないか？

まちづくり課長

整備については県からは現時点での事業化は厳しいと伺っている、引き続き地元の要望を確認しながら県との意見交換を続けていく。

町長

記念碑については、当時インフラの整わない中で島民の皆様が大変苦しい思いをして開通したと認識している。経緯等も踏まえ後世に伝えていくべきだと思ふ。地元と協議を重ねて、移設をするか今ある場所で維持管理を行っていくのか検討したい。

●防災ヘリポート設備について

問 直近で2件、夜間ヘリ搬送がヘリポート照明整備不良でヘリの離発着が出来ていない、消防は常に不足の事態へ備えなければならぬ、現状はどうなっているか？

防災危機管理課長

今回ヘリ搬送業務においては患者さんご家族、医療スタッフ及び関係者へ多大なご負担とご不安をまたご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。照明設備の全体的な改修整備に向けて早急に取り組んでいきたいと思ひます。可搬誘導灯を配備しており、現在のところ7箇所中6箇所へのヘリポートへの離発着が可能となっております。

その他にもこのような質問をしました。

- 旧上原小北西道路の舗装について
- 住吉公民館の進捗
- 鳩間航路

【一般質問の様子は、QRコードより YouTube でご覧いただけます。】



おおはま かずまさ
大 浜 一 将 議員

●町民の声と町政運営

問 町長直行便は何の為に始めたか。

町長

要望しても途中で消えていく声をなくしたい。公民館要請では言いにくい小さな声にも耳を傾けるといふ思いで始めた。

町長

子育て世代との町政懇談会のようなものはできないか。

町長

子育て世代は日中集まりやすいと思う。全公民館にて町政懇談会が終わったのちに開催を考えている。

町長

事務事業評価とはどんなもので公開できないか。

総務課長

事務事業評価とは行った事業の評価をするもので、行政運営の透明化からも公開していかねければならないと考えている。

●ファミサポの受講要件の改善

問 現在受講要件のハードルが高すぎて諦める人が多い。録画受講できるようにできないか。

福祉支援課長 受講には預かる側として知識も必要だし緊張感をもって受講していただく必要があるし、録画だと質問もできなくなるから難しい。

問 今年6月に録画での受講を認められた人がいると聞いたが事実か。

福祉支援課長 受講期間中の補講に限り録画受講を認めた。

問 すでに録画受講を認めた実績もある。子育てをしてきたもしくはしているママさん、パパさん達の方も活用するためにも録画受講を可能にできないか。

町長 いつからとは今この場では言えないが見直していきたい。

無添加の石鹸や洗剤の導入

問 洗剤や石鹸を処理するための合併浄化槽の普及率はどのくらいか。

町民課長 令和3年時点で22.7%

問 普及率を上げないといけないがそもそも海に流れても影響の少ないものを使っているように企業から無償で提供してもらおうというアイデアでできないか。町民は無添加の製品が無償で手に入り、合成洗剤が海に流れるのを防ぎ観光の魅力も上がり、企業側は「竹富町の自然を私たちが守っています」というようなとても大きな広告や宣伝につながる。

政策推進課長 メリットデメリットを含めて検討していきたい。

その他にもこのような質問をしました。

- 農業と自然環境
- 白浜港の整備と7000坪の活用
- 6月議会からの進捗について



山下 義雄 議員

●国民保護計画

問 長期間の故障などが発生している防災無線機器は、国民保護の観点からも国へ改修や設置エリアの拡大を要望できないか？

防災危機管理課長 住民への伝達手段として重要不可欠なものであり、計画の検討会や意見交換会の場で話していきたい。

問 島外への避難実施要領パターンについて、沖縄県は策定率が全国ワースト1という状況に非常に驚いている。またJアラートを聞いてはどうしていいか分からないので、外国人や子どもたちが聴いても分かるようにして欲しい。八重山では、中国公船による領海侵入が繰り返され、波照間島近海には弾道ミサイルも落下している。危機事態へ備えしつかり万全な対策をして安全安心な暮らしを確保して頂きたい。

防災危機管理課長 本町は現在もパターン策定中であり、国・県と図上訓練などを行いながら、消防団員の誘導によって船舶で石垣島へ移動し、九州までの避難を想定している。

●物価高騰対策

問 軽油免税など既存の制度利用は啓発周知されているか？

政策推進課長 本町ではコロナ交付金やふるさと応援金を活用して取り組んでいる。県も物価高長期化対策支援金を創設し、様々な事業者に対し支援措置を講じている。

●観光案内条例

問 豊かな自然と文化の町と言われたきた竹富町だが、今では観光公害に苦しむ生活し辛い島々になっているように残念。オーバーツーリズムで貴重な自然環境が失われないうち、しっかりと線を引いてこの条例と町長が定める施行規則が守られるよう推し進めていただきたい。

●自然観光課長

西表島ではエコツーリズム推進全体構想を策定するにあたり、協議会形式で様々なルールや特定観光資源エリアと人数制限などを協議を行い定めていっているところ。

●問

保険加入については、観光旅行者等の生命及び身体の保護のために傷害保険もかけた方が良く、と思うが、業者は様々な保険が重複している。団体保障など保険料の負担が減らせる仕組みはできないか？

●自然観光課長

先進地に倣い案内人免許の申請に対する審査基準のひとつとして、障害保険及び賠償責任保険への加入を施行規則の中において規定することを検討している。

【一般質問の様子は、QRコードより YouTube でご覧いただけます。】



三盛 克美 議員

●学校トイレの洋式化について

問 町内の小中学校のトイレの洋式と和式の数は？

教育委員会教育課長 町内小中学校校舎プール、体育館、交流センター全部含めて和式トイレは117基、洋式は159基。

問 県内公立学校施設トイレの調査結果(令和2年9月時点)では、洋式トイレの割合は県平均68.4%であるのに対し竹富町は60.9%、県内42市町村の中で31番目という残念な位置です。4月に入学してきた子供たちが、和式トイレの使い方が分からず、何名も間に合わずに連続しておもらしをしたという事案も起きています。現在、家庭や、幼稚園などにはほとんど見られなくなってきた和式トイレを、学校生活で強いられることの困り感を解消してほしい、学校現場からも強い要望がある。また、衛生面からも、和式便器は尿の飛散が多い、流し残しが多い、匂いが強い等、和式はリスクもありませい。災害時の避難施設としても洋式化は重要。教育長の見解を伺う。

●教育長

この機会に洋式に変えて、子供たちがトイレにいつでも行けるような安心できる環境づくりをしていきたい。

●問

和式から洋式に改修する1基あたりの工事費用は？

●教育委員会教育課長

概算で1基あたり30万かかる(和式117基×30万=3510万)

10万円)

●ふるさと納税の取り組みについて

問 トイレの洋式への改修費用予算についてふるさと納税を活用できないかと考えるが、昨年度、本町のふるさと納税額は約3億7千万、その中で教育振興に使ってほしいと寄せられた金額は4千万。この使い道は？

教育委員会教育課長 クーラー設置2000万、給食の食器購入10000万円、海洋教育2000万円。

問 令和5年度のふるさと納税の目標額、政策推進課長の意気込みを伺う。

政策推進課長 今年度は5億円の目標、今後は10倍の50億円を目指す。

問 今年度のふるさと納税の教育振興費をトイレの洋式改修予算として活用してはどうか。

教育委員会教育課長 検討する。

●企業版ふるさと納税について

問 企業版ふるさと納税、令和5年度は9件400万円。郷友会や竹富町ファンに直接呼びかけするなど、もっと力を入れてほしい。日々膨れていく学校修繕費用。校長会での修繕要請は？

●教育委員会教育課長

令和5年度、要請は183件。(継続130件、新規53件)。

●問

これまでの場当たりの管理がコストを高くしている。企業版ふるさと納税を活用して一気に修繕していただけないか。そして今後は修繕のための基金を作ってはどうか。

●教育委員会教育課長

基金の創設を検討する。

●その他にもこのような質問を頂きました。

- 観光客の受け入れ体制の整備について
- 石垣市火葬場の利用について
- 石垣市内での町民用駐車場問題について

前津議員 14人の農業委員が各地域の課題に一丸となって取り組んでほしい。

農林水産課長 農業委員を決める選考委員会の決定後に、健康状態を理由に1人の欠員が出た。二次募集については、議会終了後に再募集を行い波照間で欠員が出ているので、波照間限定で行い12月議会で同意案をあげる。

問 農業委員の欠員の理由と二次募集はあるのか。

●農業委員会について

農林水産課長 八重山土木事務所によると河川の氾濫を防ぐための河川断面確保以外を目的とした浚渫は、原則行っていない。土砂堆積は、対象に当たらないので今後、県とともに現地調査をしていきたい。

●仲間川の浚渫

問 大富船着き場を利用している組合員が15人いるが干潮時に船が、出航・入航できない。



まえ っ よし お
前津芳生 議員

●沖縄県指定文化財新盛家について

問 新盛家の茅の全面葺き替えはいつ。

教育委員会 社会文化課長 文化庁調査官が現地確認を行っており調査結果を踏まえ、次年度早い時期に葺き替えができるように関係機関と調整を行っていく。

問 新盛家の管理について、県、町、公民館で協議会をもってほしい。

教育委員会 社会文化課長 近日中に行えるよう調整中。

その他にもこのような質問をしました。
●畜産振興



【一般質問の様子は、QRコードより **You Tube** でご覧いただけます。】

教育委員会 社会文化課長 本町各地域に史跡、遺跡等があるが、位置や範囲も確定できず調査及び整備に至っていない状況。今年度から埋蔵文化財専門員が配属されたので、各種補助金を活用して、史跡等の調査整備を順次進め、生涯学習や学校教育の教材として、また新たな観光スポットとして地域の発展につながる史跡の活用に取り組み。具体的な取

問 ウテイスク遺跡の整備進捗状況を伺す。

●竹富町文化振興、観光交流拠点整備事業について

まちづくり課長 小浜地区において街灯改修工事を計画しており、小浜地区で65基、新規5基、細崎地区で5基、東細崎地区で3基、合計78基の改修を予定している。改修することにより星空保護区認定の基準を満たす明るさとする。

●星空保護区継続事業について

問 集落内照明度の対策はどのようになっていくか。



うえ もり まさ ひで
上盛政秀 議員

り組みとして、町内全島で遺跡埋蔵地の分布調査を行う予定であり、そのなかでウテイスク遺跡、ユンドウレースク遺跡の位置、範囲確定を行う予定。

●小浜公園整備について

問 進捗状況を伺う。

まちづくり課長 具体的な進展はありませんが、要請予定地複合施設の周辺地域を公図では20名程の所有者がいることは確認している。公民館にも協力いただき進められたらと考えている。

●さとうきび生産事業について

問 収穫機械の促進状況を伺う。

農林水産課長 小浜地区サトウキビ生産プロジェクトにおいて、現在反収生産量が目標を下回る結果になっており、問題解決として栽培講習会の開催や担い手の確保等を行っており、生産組合と製糖工場が一体となって収穫機械の導入に向け進めていく必要があると考える。

問 黒糖活用普及事業の内容を伺う。

農林水産課長 黒糖共同組合を事業主体として、黒糖を活用した商品開発や販路開拓等のPR活動を実施したところであり、それにより、工場在庫は解消したとの報告を受けている。

今回は、西表島西部地区のココを見てきました。

総務財政委員会
経済委員会

所管事務調査

総務財政委員会(宮良道子委員長)、経済委員会(山下義雄委員長)は、10月12日に西表島西部地区の白浜浄水場及び観光案内人条例に係る場所(マーレ入口)の所管事務調査を行いました。今回、鳩間島も予定していましたが、船便欠航により見送りとなりました。

～進入道路(旧県道)、施設内崩落～

白浜浄水場



町内の水道施設は古く、老朽化が進んでおり早急な施設の調査更新が必要。
白浜浄水場は土砂災害警戒地に位置することから新たな場所での計画が必要であり、祖納浄水場と統合する可能性について、様々な意見や質問があった。

【旧県道】

進入道路の復旧については、県へ要請中とのこと。

県は町への譲渡を考えているようだが、今のままでは厳しいと思っているようだ。

～QRコードで入域管理～

観光案内人条例に係る場所(マーレ入口)



自然観光課長から説明を受けている様子。



西表島エコツーリズム推進全体構想が昨年12月に承認された。それに合わせる形で今回の観光案内人条例の改正となっている。

今後、入域チェックゲートを設置し、そこにあるQRコードを読み取る。電波が届かないところでも登録OK、電波が届いた時点で登録される仕組みを想定。



カヌーの管理体制の見直し変更を確認した。

行政視察 (愛知県豊橋市ほか)

～メタンガスを利用したエネルギー化～

豊橋市バイオマス利活用センター

豊橋市バイオマス利活用センターでは、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ゴミを資源とする複合バイオマスエネルギー化施設として、バイオマスの100%エネルギー化やCO2を削減することで、エネルギーの地産地消や地球温暖化防止対策など環境の保全に寄与する取り組みを行ってまいりました。発酵槽から発生したバイオガスを利用して発電することによって、一般家庭1890世帯分にあたる電力を生み出し、メタン発酵後の汚泥は炭化燃料に加工されます。温室効果ガスCO2削減量は年間約14000トンとなり杉の木100万本の植樹効果に相当し地球温暖化防止に寄与しています。また、汚泥、し尿、生ゴミを集約処理することにより、20年間で約120億円の処理費用の削減が見



込まれるそうです。世界自然遺産の西表島がある竹富町でも、汚泥、し尿、生ゴミから発生したバイオガスを利用して発電する取り組みができないか今後も研究していきたいと考えています。

～海洋ゴミやパレットを溶かしてボイラー燃料へ～

アーバンリング (再生資源燃料抽出装置)

海洋ゴミの解決に向けて竹富町の課題解決のヒントを探し、愛知県常滑市にあるプラスチックの油化装置を視察しました。この装置は水蒸気を加熱し、600度程度の「加熱水蒸気」を作り出し、その加熱水蒸気でプラスチック類を「溶かす」という装置です。溶かされたプラスチック類は気体となり冷やされる事で分離され、液体の油に戻ります。この油は販売もできるようですが、この装置のバーナーの燃料とする事もでき、大幅なランニングコストのカットにもなるようです。炉の中には、海洋ゴミ、パレット、農業ゴミ、家庭用ゴミ、生ごみ、燃えるゴミなどから、クーラーやタイヤなどありとあらゆるものを入れる事が可能なようです。そしてプラスチック類は蒸発して分けられ冷やされ油へ、生ごみや燃えるゴミ系は炭になり、ガラスや鉄など溶けないものは下に残るようです。あくまで



も「燃やす」のではなく「溶かす」という装置なので、酸素を必要としないため、ダイオキシンは発生しないとのこと。運転も炉に対象物を入れスイッチ



を押すと後は自動で稼働。トラックに積んで運べるタイプもあり、海岸近くに運んで処理も可能。海洋ゴミで使うなら分別も洗ったりも必要なく、家庭ゴミで使うなら燃えるゴミもプラスチックゴミも洗わずにすべて混ぜて問題ないとの事。装置は1番大きいやつで3億円程。海洋ゴミとパレットの処理に毎年約1,000万円使っていると思うと、費用対効果は良さそうです。今後は油化した油で発電までできるようにメーカー側も考えているとの事。いつかそまでいければ海洋ゴミもパレットも資源となり、電気になる日が来るかもしれません。竹富町のゴミ問題の解決の一歩になるかもです。

～漂着ペットボトルから生まれる繊維～

豊島株式会社のUp DRIFT

漂着ペットボトルを回収し資源にする事業『Up DRIFT』を行っている豊島株式会社の視察を行いました。竹富町からは竹富島と波照間島で回収した漂着ペットボトルが回収・分別・輸送され新たな繊維として生まれ変わる過程をご説明いただきました。また、ドリップされた後のコーヒーの粉や商品になる過程ではじかれてしまうルイボスティの葉を染料として利用した商品を見せていただきました。漂着ペットボトルや食物を廃棄するのではなく、アップサイクルすることによって循環する仕組みづくりはこれからの持続可能な社会のためにも必要だと感じました。

竹富町議からは「各島の港に溜まっているパレットを回収し再利用できないか」という質問があり、パレットを破碎し輸送することで新たな製品の原料として再利用できる可能性はありとご回答もありました。



今回の視察では、汚泥やし尿を利用したバイオガス発電、ゴミを燃やさずに溶かす油化装置、漂着ペットボトルや廃棄予定の食物をアップサイクルの取り組みを学びました。竹富町の持続可能な循環型社会の形成のため、今後も研究を続け、議会でも取り上げていきたいと考えています。

議場見学!!

写真館



小浜中学校の皆さん

4階です。
エレベーターも
あります。

ご案内	
4F	議場 議会事務局 竹富町役場内簡易宿泊施設
3F	①防災危機管理課 ②自然観光課 ③財政課 ④政策推進課 ⑤総務課 大会議室 竹富町観光協会 竹富町商工会 株式会社竹富町物産観光振興公社
2F	⑥農林水産課 ⑦農業委員会事務局 ⑧まちづくり課 ⑨上下水道課 ⑩教育委員会 選挙管理委員会事務局 社会福祉法人竹富町社会福祉協議会 竹富町ファミリーサポートセンター
1F	⑪町民課 ⑫健康づくり課 ⑬福祉支援課 ⑭税務課 ⑮銀行窓口 ⑯会計課

竹富町議会

議場見学、議会傍聴にきませんか。
グループや個人も大歓迎！
まちづくりの議論の最前線
皆様のご来庁お待ちしております。



県と県議会へ意見書提出



意見書第5号 竹富町民等船賃負担軽減事業(燃料油価格変動町政金額補助)の新たな支援制度の創設を求める意見書

意見書第6号 八重山圏域離島住民と周辺海域従事者に対する、Jアラート等の周知および国民保護のための予算措置を求める意見書



あとかき

竹富町議会議員選挙の改選から一年が経ちました。
これからもより良いまちづくり、竹富町のために議員一同つとめてまいります。
また、もっと見たくなる、手に取りたくなる議会広報づくりにも取り組みます。

議長宛の文書は議会事務局へ

議長あての文書や案内状は、議長の公務日程を調整する必要がありますので、議会事務局へお届けをお願いします。

広報編集委員会

委員長 上勢 頭 巧
副委員長 大浜 一 将

E-mail : gikai@town.taketomi.okinawa.jp

議会を傍聴しませんか？

傍聴受付に、複雑な手続きはありません。
詳しくは竹富町議会事務局
☎ 82-3748